

ナキハクチョウ人首川に渡来

村瀬 美江

024-0012 北上市常盤台2丁目2-17

2008年2月5日～2月27日。岩手県江刺区岩屋堂、人首川豊田橋付近で2月5日3時30分頃オオハクチョウの群れの中に黒い嘴のハクチョウを発見した。江刺区在住の近藤正光氏は、毎日人首川に写真撮影に通っている(2008年2月10日、岩手日報、朝日新聞に記事あり)。ナキハクチョウは日時により豊田橋上流～下流に移動し、近所の田んぼにも出かけている。同行しているのはオオハクチョウ1羽で、いつも一緒にいて鳴きかわしなどが見られる。トランペッターの特長のある声でよく鳴いている。2月10日には金ケ崎町の赤岩堤に飛来し、これを金ケ崎町在住の及川勇二氏が観察している。翌11日には人首川に戻っていた。2月27日に人首川から飛去し、近藤氏が確認した。その後立ち寄ったという報告はない。

2007年11月12～13日にクッチャロ湖大沼に飛来したが、2日間滞在しただけで14日には観察されなかった。このことについては、クッチャロ湖の小西氏から電話があった。村瀬も岩手県内の心当たりをさがしていた。その後2008年2月5日に人首川で近藤氏が発見し、2月20日には村瀬も人首川に出向いて観察し、豊田橋の下で近藤氏にお目にかかりナキハクチョウ飛来時のお話をお聞きした。

4月8日に山階鳥類研究所標識研究室の茂田良光氏に写真と観察記録を送り、識別を依頼した。7月31日に茂田氏よりお電話があり、ナキハクチョウと同定したということであった。

岩手県内における1991/92年、1992/93年のナキハクチョウの記録は「黒い嘴峰の仲間たち」の46, 47～48, 57, 62, 67頁に記載されているが、以下のとおりである。

1991年12月15日	岩手県岡市北上川	観察者：川村文男
1991年12月20日	宮城県伊豆沼	〃：笠原啓一
1992年3月29日～4月24日	北上市	〃：村瀬正夫・美江
	北上川珊瑚橋	〃：及川勇二
1992年12月5日	宮城県伊豆沼内沼	〃：笠原啓一
		〃：村瀬正夫・美江
1992年12月12日～	岩手県赤石堤	〃：及川勇二
1993年4月13日	飛去、初めての越冬	〃：村瀬正夫・美江

以上の5例はナキハクチョウ1羽とオオハクチョウの2年子1羽で、同じ個体であった。

このほか

2005年10月24日～11月3日 北海道帯広市 観察者：星子廉彰

2006年1月20日～3月24日 長内川 〃：村瀬洋子

以上2例は同じ個体で、同行者は山上昭彦であった。

2006年11月12, 13日 北海道クッチャロ湖 〃：小西敢

2008年2月5日～2月27日 人首川 〃：近藤正光

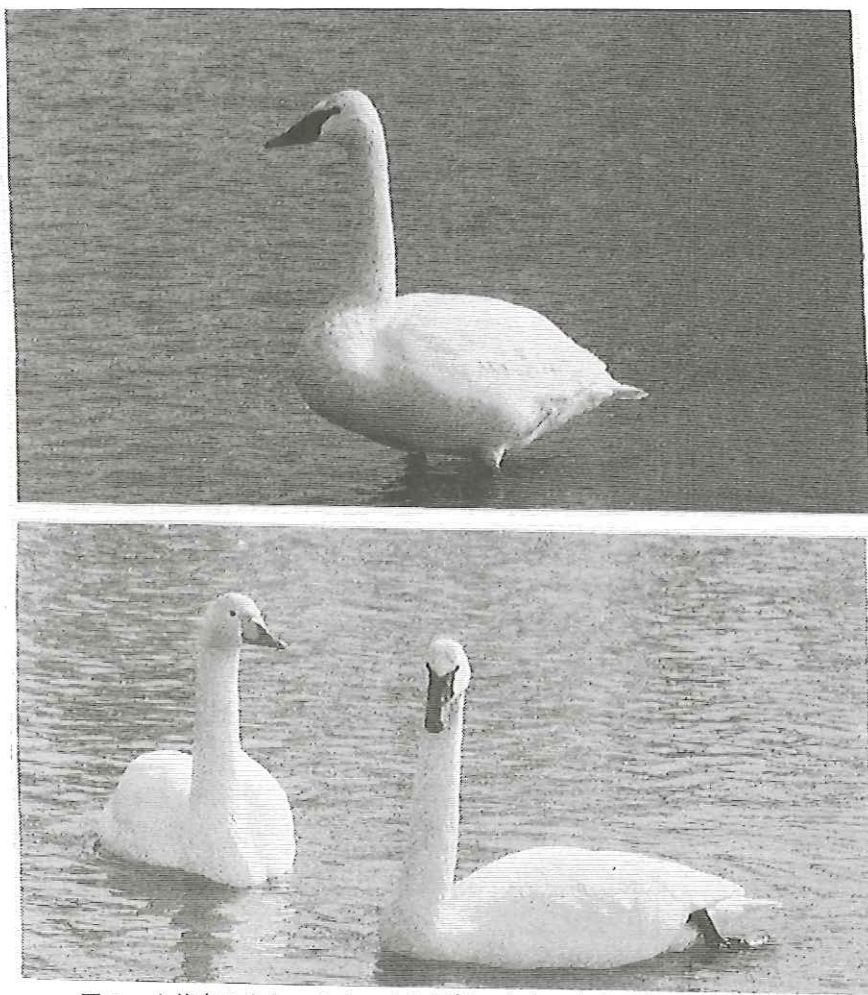


図1. 人首川のナキハクチョウと同行のオオハクチョウ, 2008年2月20日.